

# Port of Hachinohe

No. 10  
Sep 2003

---Maritime & Trade Report---

- 八戸港北米コンテナ定期航路交流ミッション2003
- 豪華客船「飛鳥」が八戸港に寄港
- 「八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2003」派遣のお知らせ
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 台湾へのりんご輸出急増の背景
- 青森県輸入住宅促進協議会ニューズレター



タコマ港との情報交換会



シアトル港とアメリカ東部を結ぶ  
バーリントンノーザンサンタフェ鉄道



企業訪問  
Saunder Mouldings, Inc.



企業訪問  
ウェアハウザー

## 八戸港北米 コンテナ定期航路 交流ミッション2003

八戸港国際物流拠点化推進協議会は、平成15年8月19日（火）～27日（水）の日程で当協議会会長八戸市長中村寿文を団長とするミッションを北米に派遣しました。

今回のミッションで一行は、「本州において北米に最も近い港」である八戸港の利点をいかした北米航路の利用促進として、北米産木材・建築材料を中心に関連企業の訪問を行いました。

また、「経済貿易協定」を結ぶタコマ港湾局及びバンクバー港湾局と港湾のセキュリティー対策について情報交換を行い、シアトル港を含む北米定期航路の更なる発展に決意を新たにしました。（関連記事：2ページ）

## ～八戸港北米コンテナ定期航路交流ミッション2003～

### ●タコマ港と八戸港の情報交換会～港湾のセキュリティー対策について～

8月25日（月）、米国ワシントン州タコマ市において、近年話題となっている港湾のセキュリティー対策をテーマに、タコマ港と八戸港の情報交換会が行われました。はじめに、タコマ港湾局副港湾局長のティム・ファレル氏からタコマ港におけるセキュリティー対策について、大変詳しい説明がありました。ティム氏によると、2001年の9月11日の同時多発テロ以降、セキュリティー対策は更に進み、従来のコンテナターミナルにおける対策（監視カメラや扉など）は勿論のこと、対米輸出の主要港へ関税庁職員を派遣し検査を実施するなど、コンテナが移動する際に考えられる全ての安全対策が総合的に実施されており、今後は世界基準となるようなセキュリティーシステムを構築していきたいとのことでした。続いて青森県県土整備部港湾空港課副参事横山哲雄氏より、SOLAS（海上人命安全）条約の改正に伴う国土交通省の港湾セキュリティー対策の概要と八戸港の取り組みについて説明がありました。八戸港にとって、タコマ港の先進的事例は大変参考になり、その後の昼食会でも意見が交わされるなど、有意義な情報交換会となりました。



タコマ港との情報交換会



21日の情報交換会（シアトル市）には、海外経済協力員ゲリーブラケット氏にもお越し頂きました。



バンクーバーにあるパブリックマーケット

### ●住宅関連企業訪問

今回のミッションでは、青森県輸入住宅促進協議会（会長：齋藤義則氏）をはじめ、県内の住宅関連業者とともに、北米における住宅関連企業を12社訪問しました。訪問先は、暖炉工場、窓・ドア・建材等様々な住宅に関連する企業で、北米における住宅事情を様々な立場から伺い知ることができました。どの企業の商品も、最近話題となっている健康住宅には十分配慮されており、特に日本向けには、高品質に配慮しているとのことでした。

また、日本で今年7月1日に改正された、建築基準法の改正に対応するため、日本への輸出についても商品の認定申請に積極的に取り組んでいました。

両国における不景気を受けて、日本向けの輸出量は伸び悩んでいるようですが、「共同輸送事業」や、「八戸港コンテナ輸送トライアル補助金」などの利用を通して、今後、更なる八戸港の利用増大が期待されます。



企業訪問 Regency

## 「第1回八戸地域洋上風力発電研究会」開催

近年新エネルギーの活用が注目を浴びる中、八戸地域洋上風力発電研究会が開催されました。この研究会は、昨年開催された勉強会を発展させ、民間事業者やNPO等諸団体の方々に洋上風力発電に興味を持って頂くとともに、容易に事業参入できる環境づくりを図ることを目的として市が主体となって設立したもので、会長には八戸工業大学の松坂教授に就任頂きました。

第1回勉強会では国土交通省港湾局開発課海洋利用開発室の中川専門官から「港湾における洋上風力発電の推進」をテーマにご講演頂いた他、事務局から今年度実施予定である導入可能性調査の内容や、アンケート調査の実施について報告がなされました。

研究会には市内はもとより、市外、県外などの民間事業者、NPO等から120名を超える参加を頂き、

活発な議論がなされました。

今後は、研究会を年度内に2回開催され、導入可能性調査の結果について事務局から報告されるほか、候補地等についての議論がなされる予定となっております。



研究会の様子



中川専門官のご講演

## 豪華客船「飛鳥」が八戸港に寄港

豪華客船「飛鳥」が7月2日、「日本一周グランドクルーズ」で、八戸港ポートアイランドに寄港し、歓迎セレモニーが開催されました。

当日は小雨の中セレモニーが開催されましたが、中村市長から「飛鳥」の小田船長に花束と市の代表的な郷土芸能「えんぶり」をかたどった彫金の額を贈ったほか、乗客の皆様には八戸名物の「南部せんべい」を振る舞われました。

また、セレモニーの最後を飾って根城中学校吹奏楽部による歓迎の演奏が行われました。乗客の皆様は聴き入った後、奥入瀬渓流や十和田湖、市内観光へと向かいました。

ポートアイランドには、日本を代表する豪華客船を一目見ようと多くの市民が集まり、大きな関心を寄せていました。



船長に歓迎の花束を渡す八戸市長



小雨の中、歓迎の演奏をする根城中学校吹奏楽部の皆さん

■船籍/日本  
 ■総トン数/28,856G/T  
 ■全長/192.8m ■全幅/24.7m  
 ■喫水/6.7m  
 ■航海速力/最高21ノット  
 ■主機関/  
 ディーゼル：11,770馬力×2基  
 ■乗組員数/約270名  
 ■客室数/296室 ■乗客数/592名



## 「八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2003」派遣のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港の利用促進及び、青森県地場産品の輸出拡大を主な目的として、下記のとおりミッション団を派遣することといたしました。

1. 派遣日程：2003年11月24日（月）～29日（土）
2. 訪問先：中華民国（台湾）〔台北市、高雄市〕
3. ミッション構成：八戸港国際物流拠点化推進協議会構成団体、商社、生産者、卸売業者ほか
4. 目的：(1) 八戸港のポートセールスのための企業訪問及び八戸港セミナーの開催。  
 (2) 台湾の旧正月商戦に向けた商談会の開催。（台北市）  
 (3) 八戸港の今後の整備方向及び貿易振興の参考にするため、世界のハブポート「高雄港」を視察。  
 (4) 2003年11月20日（木）～12月1日（月）に大立伊勢丹（高雄市）で開催予定の『（仮）2003年日本のうまいものと工芸展』を視察し、地場産品の輸出可能性を調査。
5. 主な行事：(1) 青森県産品等商談会・八戸港セミナーの開催（予定）  
 (2) 行政機関等訪問  
     ① 亜東関係協会 ② 財団法人交流協会 ③ 台北市進出口商業同業公会  
 (3) 高雄港視察（高雄市）  
 (4) 大立伊勢丹訪問（高雄市）

### お問い合わせ先

青森県八戸市内丸1-1-1  
 八戸港国際物流拠点化推進協議会  
 （八戸市経済部産業政策課内）  
 TEL 0178 (43) 9048  
 FAX 0178 (46) 5600  
 E-mail hppc@hi-net.ne.jp



昨年の商談会風景（台北市内のホテルにおいて）



# 来て 見て ポートアイランド

釣り、スポーツ、景色を楽しむ人達に親しまれているポートアイランドは輸入促進地域事業の一環として設計された人工島です。そのポートアイランドの色々な場所を皆様に御紹介するコーナーです。

今回は“シーガルブリッジ”を紹介します。

ポートアイランドと陸地を結ぶのが、羽ばたくウミネコのようにも見えるシーガルブリッジです。

主塔の高さは45m、全長265.5mで総事業費89億円をかけ平成3年着工、平成10年に開通しました。

いつ見ても美しいシーガルブリッジは八戸の新しい観光スポットのひとつとして定着しつつあり、社団法人照明学会の照明普及賞も受けました。また八戸市まちの景観賞も受けています。

この橋はケーブルによりバランスをとる斜張構造を持ちます。この橋をさらにユニークにしているのはケーブルを支える主塔が15度傾いているところにあります。このデザインは、世界で他にスペインのリオ・エブロ橋に見られるだけの珍しい形式で、まさに海から開けたまち八戸を象徴する橋といえます。



朝焼けの  
シーガルブリッジ



夜のシーガルブリッジ

(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

**Q** 海外の取引先を国内で見つけることはできますか？

**A** 日本との取引を希望している海外業者を見つける方法として次の機関に相談することができます。

- 各国政府の在日日本大使館、州政府事務所  
大使館の商務部は日本への輸出の支援を行っています。
- ジェトロ（日本貿易振興会）  
日本各地にあるジェトロ貿易情報センターでは外国企業のリストや各企業に関する調査資料を閲覧することができます。また海外におけるビジネスへのアドバイス等も行なっています。
- ミプロ（製品輸入促進協会）  
日本への輸出を希望している企業の情報提供を行っています。特に小口輸入相談に応じています。

この他の情報源として右のような方法が考えられます。



- 国際見本市・展示会  
商談の場としては最も有効な機会といえます。同業企業が多数参加しているので商品や価格の比較ができ、実際にコネクションが得られます。
- インターネット  
海外の情報を得るのには最も身近な方法ですが、すべての情報を信頼できるとは限らないので注意する必要があります。

ご質問、ご要望等がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

(株)八戸港貿易センター

連絡先： ☎0178-72-1505

## 「東北フェアin上海」開催

中国との経済交流の促進を目的に、上海市において東北地域の総合的なPRを行うため、「東北フェアin上海」を開催することになりました。

このフェアの中で、東北地方の主要港湾のポートセールスが実施されることから、北東北の主要港湾である八戸港の航路利用促進が期待されることです。

### 開催日

平成15年11月7日（金）～9日（日）

### 会場

オークラ・ガーデンホテル（11月7日）

上海梅龍鎮広場（11月8日～9日）

### 主催

東北フェアin上海実行委員会

（東北6県、仙台市、東北経済産業局、日本貿易振興会等）

### フェアの内容

- ①ポートセールス 東北の港のPR（ビデオ放映、パネル展示等）港湾関係者によるポートセールス
- ②ビジネスフェア 企業プレゼンテーション 商談会研究機関等のPR
- ③観光セミナー 東北の観光説明 個別商談会
- ④物産観光紹介展 物産等の展示販売、ビデオ放映等



問い合わせ先

青森県庁文化観光部文化観光推進課

「物産貿易グループ」

☎017-734-9370 FAX.017-773-2691

## 「魅力ある人とみなとまちづくりに向けて」 女性ネットワーク会議 ～よさって、かだって、Waになって Part2～

八戸の地域財産であるみなと、海、海岸線を学習会などを通じて、来訪者の視点、市民の視点で見つめなおし、行政と一緒に、より効果的な活用法を考え、男女共同参画、住民参画による21世紀のより良き「みなとまちづくり」活動と一緒に取り組みませんか。

### ◆講演会◆

とき：9月26日（金）17:40～18:30

ところ：八戸グランドホテル

講師：東海大学短期大学部助教授・画家  
東 恵子 さん

演題：「魅力ある地域づくりは港の景観（色彩）から」  
～色が人を変える、港を変える～

参加料：無料

定員：200名（申込み先着順）

主催：はちのへみなとまちづくり市民フォーラム  
はちのへウィメンズアクション

共催：国土交通省東北地方整備局  
青森県、八戸市

協力：暮らしを海と世界に結ぶみなとづくり  
女性ネットワーク

### ◆フォーラム◆

とき：9月27日（土）10:00～12:30

ところ：八戸グランドホテル

内容：市民の意見発表、トーク、ミニフォーラム  
講師：日本テレビ放送網株審査室審査部参与  
大井 紀子 さん

（「とんねるずの生でダラダラいかせて！！」  
「知ってるつもり？！」「おしゃれカンケイ」など、ヒットTV番組をプロデュース）

演題：「女性が競馬を変えた、そしてみなとも…」

参加料：無料

定員：200名（申込み先着順）

<お申し込み・お問い合わせ>

参加希望の方はお電話にて下記までお申し込み下さい。

八戸市建設部港湾河川課

TEL.0178-43-2111（内）338 FAX.0178-24-6186

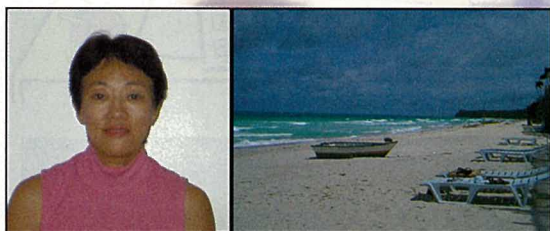
# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2003年9月現在、海外在住（香港、シンガポール、ワシントンD.C、タコマ、マニラ）の5名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂いております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていきますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内308）までご連絡ください。

## REPORT1

### マニラレポート



加賀田 みどり さん

皆様 こんにちは。

これからフィリピンの情報をお伝えして参ります 加賀田みどりです。

フィリピン・マニラでは、7月27日に国軍将兵の反乱事件がありました。これによってアロヨ大統領は、フィリピン全土に「反乱宣言」を発令していましたが、脅威はなくなったとの判断から、8月11日に反乱宣言を解除しました。経済的な悪影響が懸念されていたこともあり、上下院は、これで実業界や海外投資家の不安を和らげ、経済への悪影響がなくなるとの見方をしています。その一方で、エストラダ前大統領陣営の事件への関与が問われています。

また、大統領府独立調査委員会・上院全員委員会の若手将校喚問が、8月14日に報道陣に公開されて行われました。

この3回目の聴聞会で、将校のトリリャネス海軍大尉は、「国軍からレイエス国防長官らの爆弾事件関与を示す政府内部文書を手にしたことによって、タバオ空港・タバオ港の爆弾テロ・送電用鉄塔爆破を国軍が画策したということを確認し、反乱事件の動機の一つになった」と証言しています。

この反乱事件があった日は、私共の会社関係の駐在員には、電話連絡がありましたが、邦人の中には、休日だったこともあり、情報が伝わらず、マニラ市内にでかけて、事態を知ったという方もいたようです。邦人の間では、情報不足により、事件の状況・推移を明確に把握できなかったという声が多かったこ

とから、マニラ日本人会では、携帯電話の文字メールで危険情報を提供するため、文字メール網を再整備することになったようです。

さて、マニラでの食材の入手事情を紹介します。以前、ドイツに住んでいたときは、魚が手に入らなくて、日本食材店で冷凍のものを購入していましたが、マニラには、シーサイドマーケットがあり、そこで比較的新鮮な魚介類が手に入ります。しかし、冷蔵設備がなく、すべて氷で鮮度が保たれているため、新鮮なものを手にいれるためには、朝早く行くことがお勧めです。こちらは、気温が高いこともあり、鮮度を保つのが難しいため、内蔵をとって冷凍しているものを、日本食材店で買う人も多いようです。フィリピンで一番おいしいのはやはりえびです。えびは、大きいから小さいまで、豊富にあります。この国は本当にえびのおいしい国です。アサリ・なまず・カニなどは生きているまま売っています。新鮮なイカも売っていますが、八戸で見るとは、すこし種類が違うようです。野菜などは、パサイ市のカルティマール・マーケットで、安く手に入ります。それに、普通のスーパーマーケットにはない、ごぼう・にら・ほうれん草（日本のほうれん草）など売っている時もあります。

フィリピンの料理に、鶏肉を酢と醤油とにんにくで煮たもの（ADOBO：アドボ）があります。これは、なかなか良い味で、年配の方から小さなお子様でも、おいしくいただけると思います。

お肌の状態を綺麗にしたい方にお勧めなのが、プロテイン豊富な鶏の足をこの味付けで煮たものが多いようです。フィリピンの人でも、鶏の足は苦手という人も多いのですが、カルティ



マール・マーケットには、山積みで売っています。量り売りで、ほしい分だけ、つめをおとしてくれます。

肉は、スーパーでも新鮮な肉が手に入ります。量り売りのため、発泡スチロールなどのごみができません。果物や野菜類も量り売りです。野菜などは、バギオ産の野菜が人気があります。バギオは、フィリピンのなかでも高いところに位置するので比較的涼しく、野菜の栽培には適しています。

私が住んでいるアラバン地区にも一週間に一度、バギオからオーガニック野菜を売りに来ています。これは、カルティマルの野菜よりも、割高です。

また、大豆から作られるTAHO（タホ）と呼ばれる、少し柔らかめの絹ごし豆腐状にタピオカが入っているものがあります。ブラウンシュガーシロップをかけて食べます。とてもヘルシーで、これもお勧めです。200mlくらいで、5ペソ（約12円）です。オフィス街などでは、あたたかいTAHOを売っている人を見かけます。

マニラの南に位置するラグナには、ココナツが入ったプロパイ（プロは、タガログ語でココナツのこと）を売っている店があります。マニラから2時間程のところにありますが、とても人気があり、数箱ずつ買い求める人が列をなしています。あまり甘すぎず、一箱が80ペソ（約200円）で、8人分位あります。これは熱いうちに食べるとおいしいです。こちらにある、ワールド・トレード・センターでは、月に一回フィリピンの雑貨などを大量に集めたバザー（AWCP Bazaar）が開催されます。このバザーは、あらゆる所から日本語が聞こえてくるほど、日本人がたくさんきます。平日行われるため、ほとんどが女性です。このバザーには、バック・アクセサリ・民芸品・食料品・パッチワーク・洋服・服地・などいろいろなものが出展されます。なかでも、これは良くできていると思うものは、民芸コーナーのフルーツ入れです。一枚のしっかりした板が、数秒のうちに器にかわります。つくりがとてもしっかりしているので、用途はいろいろです。7月のバザーは、夏休みで日本に帰国する人が、お土産にするためもあり、とても日本人が多かったようです。今後の予定は次の通りです。

9月23日（火）

10月13日（月）

11月11日（火）

12月1日（月）

今回は、ひたすら海を満喫したい方に、ボラカイ（Boracay）を紹介します。ここは、ダイビング・海水浴などマリンスポーツを楽しみたい方にはおすすめの島です。マニラから南に約

420km程のところにあり、南北に約7km、東西約2kmの空港のない小さな島です。空港は、隣の島、パナイ島（Panay）のカティ克蘭空港（Caticlan Airport） または、カリボ空港を利用し、そこからカティ克蘭港まで行き、パンカーボートでボラカイ島まで行きます。この時、是非用意していただきたいのが、短パンとビーチサンダルです。乗船の時は、膝の辺りまで濡れるので、空港から港まで移動中に、ビーチサンダルに履き替えておくといいでしょう。

また、3月・4月・5月は、とても天気の良い日が続き、大勢の人でにぎわっていますが、6月ごろから雨季に入るので、ホワイトビーチは、とても静かです。ホテルは、ビーチサイド沿いにもあり、雨に降られても、すぐにホテルに戻ることができます。また、プールを備えているホテルもあるので、プールのそばのシャワーで、砂を流し、そのままプールで泳ぐこともできます。マリンスポーツの合間にゴルフ場で、ゴルフを楽しむこともできます。

8月15日（金）に、フィリピン南部（ラグナ州ルンバン町）のカリヤヤ平和公園で在比日本国大使館主催の日比戦没者慰霊祭が行われました。マニラから2時間半ほどのところ、みどりに包まれた山の上にある、戦没者慰霊碑のまえで、日比の国歌が流され、参列者全員の黙祷、そのあと高野幸二郎大使が追悼の辞を述べた後、全員の献花が行われました。また、日本人会のコーラス部 ラ・メールによって、「里の秋」と「ふるさと」が合唱されました。「里の秋」は、戦地の父への慰問文として、小学校の教員だった斎藤信夫氏によって書かれた詩から完成されたものです。

フィリピンに赴任中は、こちらに来ることができない方々の分も、毎年お参りしたいと思います。マニラ日本人会とフィリピン日本人商工会議所は、毎年8月15日にカリヤヤ平和公園のお参りを呼びかけています。



# 八戸港の貿易概況報告 (2003年1月～6月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階  
 日本貿易振興会 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

## <概況>

主な輸出品目では鉄鋼製品、有機化学品、亜鉛塊が好調。一般機械も金額で伸びを見せている。船舶、魚介類は前年比大幅減となった。

輸出仕向国別では中国、韓国、台湾と好調であったが、パナマ、インドネシア、タイ向が不調。輸入品目では、とうもろこし、魚介類、ウッドパルプが好調に伸び、石炭、亜鉛鉱、カオリンが不調であった。仕出国別ではアメリカ、中国、インドネシアからが大幅増で、オーストラリア、フィリピンが前年比大幅減となった。

## 平成15年1月～6月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋。

### 輸出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船舶	NO	7	2,985,500	175.0%	43.5%
フェロニッケル	MT	47,226	8,481,922	77.6%	96.7%
有機化学品	KG	802,520	765,720	122.0%	179.5%
紙製品	MT	2,525	261,749	97.6%	109.0%
一般機械	MT	1,288	588,943	68.7%	147.9%
鉄鋼製品	MT	20,949	895,812	95.0%	142.4%
飼料	MT	3,860	205,108	95.1%	90.1%
魚介類	MT	2,552	259,914	81.7%	50.7%
亜鉛塊	MT	8,470	772,476	128.5%	114.6%
その他			16,387,917		473.4%
計			31,605,061		142.3%

### ●コンテナ取扱実績 ( ) 内前年比

輸出	231億9,704万円 (210.3%)
輸入	75億7,994万円 (98.8%)

### ●コンテナ貨物通関本数 ( ) 内前年比

輸出	3,093TEU (81.4%)
輸入	5,492TEU (109.0%)
合計	8,585TEU (97.1%)

### 輸入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	460,095	7,121,942	114.3%	106.3%
とうもろこし	MT	425,572	6,811,466	111.2%	121.4%
ニッケル鉱	MT	1,148,610	4,784,202	88.9%	106.0%
木材	CM	71,860	1,679,052	115.6%	113.7%
亜鉛鉱	MT	63,004	1,505,169	81.0%	79.9%
大豆粕	MT	106,039	3,076,339	120.2%	124.0%
魚介類	MT	5,783	2,466,974	141.0%	130.6%
飼料	MT	30,619	824,330	35.2%	60.2%
石炭	MT	364,136	1,668,865	71.9%	68.7%
こうりゃん	MT	105,143	1,839,671	95.0%	112.5%
ウッドパルプ	MT	13,771	747,471	157.1%	168.7%
カオリン	MT	50,906	1,004,682	84.0%	76.5%
肥料	MT	7,106	153,622	90.6%	73.4%
重油等	KL	29,375	800,782	76.0%	97.5%
コークス等	MT	55,647	831,079	135.8%	182.2%
鉛鉱	MT	14,401	597,337	160.0%	105.7%
金属製品	MT	1,232	289,283	67.3%	81.3%
その他穀物	MT	11,976	164,289	94.2%	74.5%
糖蜜	MT	2,705	24,528	101.3%	83.7%
その他			8,865,482		62.6%
計			45,256,565		93.2%

## 台湾へのりんご輸出急増の背景

日本貿易振興会 (JETRO)  
 青森貿易情報センター  
 TEL 017-734-2575  
 FAX 017-773-2877  
 030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

台湾のりんご輸入量は01年12万4,607トンから02年には11万7,661トンと減少し、03年も前年同期比(1～4月)3割減と低迷している。

なかでも米国産りんごの02年輸入量は33.6%減、03年は42.3%減と大幅に減少した。

02年11月、害虫発見による輸入停止や米国内港湾ストも影響して米国産りんごの品薄、イメージダウンにより長期的輸入低迷を招いたと台湾のある専門業者は見ている。

一方、中国産りんごは現在輸入禁止であるが、韓国産りんごは01年まで輸入禁止であったものが02年には7,839トンと日本とほぼ同レベルに達した。しかし、03年は前年同期比43.9%減と日本のほぼ1/5程度に低迷している。

これに対し、日本産りんごは01年の1,696トンから02年は8,376トンとはほぼ5倍となった。03年は全体の輸入量が落ち込む中で1～4月だけで7,018トン、前年同期比42.6%増を記録した。日本りんご輸出の97%程度は青森産と推定(青森県りんご果樹課)されている。

日本産りんごの単価は01年54.2千円/トンが02年41.4千円/トン、03年39.3千円/トンとWTO加盟を機に低下傾向を示しているが、米国産は大きな変化はない。

この単価低下の要因は、贈答用中心の高級品(世界一、陸奥、有袋ふじ)だけでなく、個人消費用の中小玉りんごの輸入増によると見られる。実際、王林、ジョナゴールド、サンふじ、さらには日本国内では加工用の小玉りんごも輸入された。これらの一部は学校給食用にも供されている。

交流協会台北事務所によると昨年末、台湾内に120店舗を展開する大手スーパーが青森産ふじの小玉を5個99円で売り出したところ、2～3日で売り切れる店舗が続出したが、別のスーパーで米国産ふじの小玉8個99円の売れ行きは必ずしもよくなかった。

このように、日本産りんごはWTO加盟を機に品種、サイズの多様化、流通経路の多様化により末端価格も低下し、一般消費者の手が届くようになったことも需要増につながっている。(1元は約3.5円)

単位： トン/百万円

	全体		うち日本		うち米国		うち韓国	
	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額
2001年	124,607	2,346	1,696	92	100,491	1,795	0	0
2002年	117,661	2,430	8,376	347	66,686	1,219	7,839	204
2003年	32,904	833	7,018	276	21,247	451	1,486	47

※2003年については1～4月分の総計を表示(台湾財政部関税総局発表をもとにジェトロ青森にて作成)





## 輸入住宅セミナー開催！「北欧の健康・福祉住宅」

去る平成15年7月22日（火）、八戸港貿易センターにおいて「輸入住宅セミナー」が開催されました。当日は住宅産業に関わる県内企業から約50名の方々が参加されました。

講師として輸入住宅産業協議会（東京）の副会長である町田ひろ子氏を迎え、高齢化社会での住まいの役割について講演を頂きました。町田氏は講演の中で「日本は世界一の長寿国で、子育てを終えた後に夫婦二人で暮す時間も増えている」と指摘、「これからの住宅には夫婦生活を重視する工夫、高齢になっても自立生活できる工夫と設備が必要」と訴え、また「住宅への関心は女性のほうが高い。売る側ももっと専門的な知識を持った女性を積極的に登用するべきだ」と提唱しました。アクションを多用した講話は参加者を引き付けるとともに、北欧、北米の住宅事情、思想など最新の情報を得ることができ、有意義なひと時となりました。

### ～町田ひろ子氏 略歴～

スイス・アメリカへ留学後、77年に帰国し日本に初めて「インテリアコーディネーター」のキャリアを提唱。78年に「町田ひろ子インテリアコーディネーターアカデミー」を設立。「輸入住宅産業協議会」副会長、ライフスタイル委員長。



## 建築基準法改正についての最近の動向

ログハウス・スチールハウスに関する建築基準法施工規則が改正されるほか、室内空気環境に関する規制が新たに加わるなど、状況が変化しています。ここでは改正点について簡単にまとめてみました。

1. 居室内の化学物質に関する規定  
特定のホルムアルデヒド発散建築材料を内装仕上げとして利用することを禁止、若しくは制限が行われました。
2. 丸太組み工法に関する技術基準の改正  
建物形状、材料、構造方法に関する内容に規定が定められました。
3. スチールハウスに関する技術基準の改正  
構造体力上主要部分にアルミニウム合金を用いた建築物などが対象となり、原則として延べ面積を50m<sup>2</sup>以下としなければならないと言った制限がかかりました。
4. 介護保険法の改正  
居宅介護住宅のバリアフリーリフォームに対し、改修費の一部支給がなされる事になりました。

以上4点が主だった改正となります。詳細についてはAIRA会員、各企業へお問合せください。

## AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへの参加。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加（自己負担あり）ができる。

## AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内  
Tel : 0178-72-1505 Fax : 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

## ■AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社兼藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市道道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331
有限会社アメリカンスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
グットワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テーオー小笠原	青森市東道道三丁目6-3	017-736-2000
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
有限会社山広産業 住宅部	八戸市一番町一丁目2-22	0178-27-6570

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、台中、高雄)、中国(香港)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山)、中国(上海) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	10
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	9	8
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャバン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

八戸信用金庫の紹介

所在地: 〒031-0086 八戸市大字八日町18番地  
☎(0178) 44-2121 fax (0178) 44-3379

当金庫は、大正11年12月27日に発足し、平成14年12月を以って創立80周年を迎えました。

営業基盤である八戸市は、古くから国内有数の水揚げを誇る漁港を有し、平成8年には輸入促進地域の指定を受けるなど、海と共に発展してきた地方都市です。

当金庫は、昨年9月に創立80周年記念事業の一環として、豪華客船「ふじ丸」による船旅を企画、総勢834名のご参加をいただき、八戸港(ポートアイランド)から富山新港までの日本海クルーズ旅行を実施いたしました。

八戸市に於ける八戸港の役割のように、「地域になくてはならない」金融機関を目標として、今後とも皆様のご繁栄に努力する所存ですので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



豪華客船「ふじ丸」

編集後記

今号でご紹介した北米ミッションの訪問先でもあるカナダの国旗について、お話ししたいと思います。カナダの国旗に使われる赤いカエデですが、国旗として認定されたのは意外に最近で1965年のことです。しかし原典はさらに100年ほどさかのぼって1860年に求められます。

プリンスオブウェールズがはじめてカナダを訪れたときイギリス出身者はバラの、スコットランド出身者はアザミの紋章を身に付けて彼を迎えました。しかしカナダ人としての紋章はありませんでした。そこで地元のバプティスト教会の紋章だったカエデをカナダのエンブレムとして採用したのが最初だったと伝えられています。

ちなみに国旗は別名「メープルリーフ」とよばれ、親しまれています。

今回の訪問を新たな機会として海で繋がる交流が深くなればと願っております。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会  
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業政策課内

TEL:0178-43-2111 (代表) e-mail: [hppc@hi-net.ne.jp](mailto:hppc@hi-net.ne.jp) Homepage: [www.hi-net.ne.jp/hppc](http://www.hi-net.ne.jp/hppc)



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: [mail@hptc.co.jp](mailto:mail@hptc.co.jp) Homepage: [www.hptc.co.jp](http://www.hptc.co.jp)



登録商標100%の正産物を使用しています。

二〇〇三年九月発行  
発行所 八戸港国際物流拠点化推進協議会・(株)八戸港貿易センター  
企画編集 (株)八戸港貿易センター